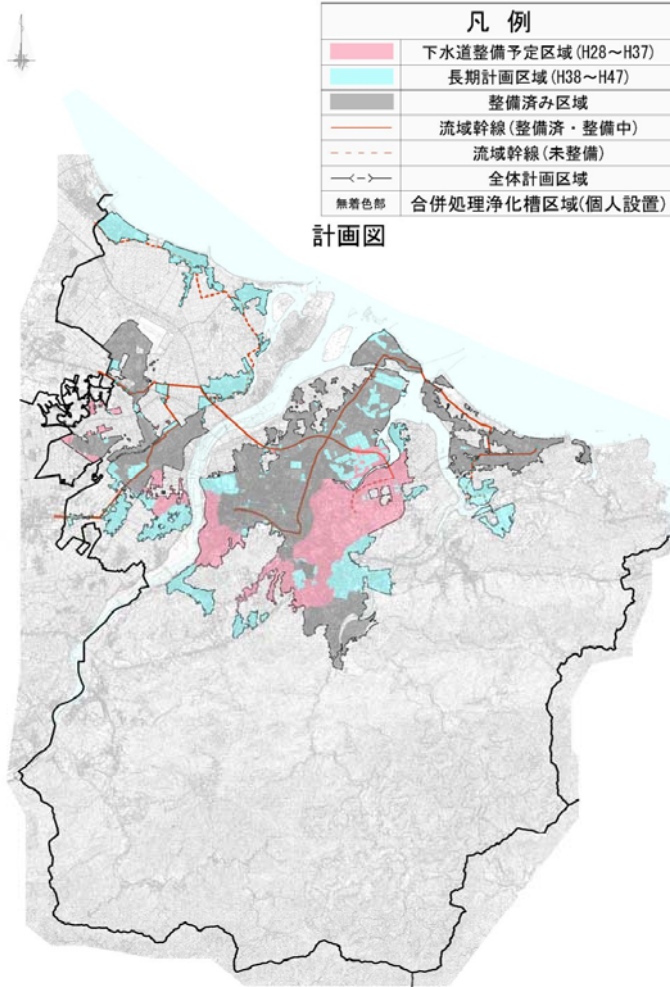


伊勢市汚水処理施設整備アクションプラン

■目標年次 平成37年度

■汚水処理施設整備計画



<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #FFC0CB; border: 1px solid black;"></span>	下水道整備予定区域 (H28~H37)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black;"></span>	長期計画区域 (H38~H47)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #A9A9A9; border: 1px solid black;"></span>	整備済み区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border-bottom: 2px solid orange;"></span>	流域幹線 (整備済・整備中)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border-bottom: 2px dashed red;"></span>	流域幹線 (未整備)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; border: 1px dashed black;"></span>	全体計画区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #FFFFFF; border: 1px solid black;"></span>	無着色部 合併処理浄化槽区域(個人設置)

計画図

■整備面積

① 整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
施設整備	下水道	未整備地域の整備										
	浄化槽	浄化槽設置										
実行メニュー (早期概成)	共通	人口減少を踏まえた汚水処理計画の見直し										
		クイックプロジェクトによる整備										
		工事規模の拡大によるコスト縮減										
		下水道整備が遅い区域を暫定的に浄化槽補助により整備										
		新技術の採用による整備										

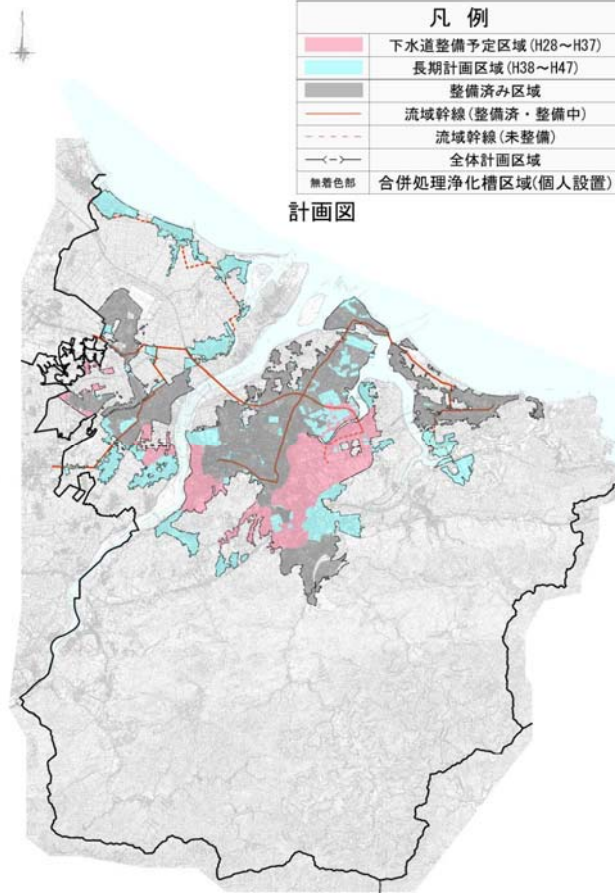
② 目標値及び概算事業費等

整備手法	整備人口(人)	全体	公共下水道	農集排水施設	漁集排水施設	浄化槽		その他	備考(早期概成の手法の内容)
						個人設置型	市町村設置型		
整備手法	整備面積(ha)	2,531.8	2,531.8			23,871			・既に人口減少を踏まえた汚水処理計画を立てているが、社会動向を鑑み見直しを検討する。 ・既に一部クイックプロジェクトによる施工を行っているが、管理部門と連携をとりながら、適用範囲を拡大していく。 ・処理区域の見直しにより、早期整備の検討を行う。 ・下水道未整備区域については、浄化槽への転換にかかる補助制度により早期概成を目指す。
目標値	汚水処理人口普及率(%)	89.9%	68.7%			21.2%			
概算事業費	総建設事業費(百万円)	50,062	44,100			5,962			
	うちH28~H37の建設事業費	28,307	25,098			3,209			
	年間維持管理費(百万円/年)	186	186						
	整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)	727	802			419			
実行メニュー (早期概成)	人口減少を踏まえた汚水処理計画の見直し クイックプロジェクトによる整備 工事規模の拡大によるコスト縮減 新技術の採用による整備 下水道予定区域にあって、整備が遅くなる区域については、市単費用で浄化槽補助を実施 その他の区域については、交付金等を活用し合併処理浄化槽への転換促進								

伊勢市汚水処理施設整備アクションプラン

■目標年次 | 平成47年度

■汚水処理施設整備計画



計画図

■整備計画

① 課題の整理

課題①	山間部や海沿いの狭隘な道路の区域が多く整備に時間と費用がかかる。(下水)
課題②	マンホールポンプや処理場の老朽化が始まり、維持修繕に多額の費用がかかる。(下水)
課題③	集中処理浄化槽地区の下水への編入に際し、下水道条例の基準を満たしているかの確認が困難である。(下水)
課題④	高齢化社会の進展により、接続率の維持・向上、合併処理浄化槽への転換が一層課題となる。(下水・浄化槽)
課題⑤	初期に整備した合併処理浄化槽の更新時期を向かえ、新たな浄化槽整備に対応していく必要がある。(浄化槽)

② スケジュール

計画区分	事業	事業内容	15	20
			平成42年	平成47年
実行メニュー (運営管理)	下水道	未整備地域の整備		
		浄化槽設置		
	共通	人口減少を踏まえた汚水処理計画の見直し		
		クイックプロジェクトによる整備		
		工事規模の拡大によるコスト縮減		
		下水道整備が遅い区域を暫定的に浄化槽補助により整備		
		新技術の採用による整備		

③ 目標値及び概算事業費等

整備手法	全体	公共 下水道	農集 排水 施設	漁集 排水 施設	浄化槽		その他	備考
					個人 設置型	市町村 設置型		
整備手法								
整備人口(人)	99,101	88,393			10,708			
整備面積(ha)	3,509.0	3,509.0						
目標値								
汚水処理人口普及率(%)	99.9%	89.0%			10.9%			
概算事業費								
総建設事業費(百万円)	50,062	44,100			5,962			
うちH38～H47の建設事業費	21,755	19,002			2,753			
年間維持管理費(百万円/年)	209	209						
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)	562	678			557			
実行メニュー (早期概成)	人口減少を踏まえた汚水処理計画の見直し クイックプロジェクトによる整備 工事規模の拡大によるコスト縮減 新技術の採用による整備 きめ細かい補助制度により合併処理浄化槽への転換を一層促進する							